

# Hypercool-qMSP PP セット



Hypercool-qMSP PP セットに  
新ラインナップを追加しました！

<b>NEW</b> CDKN2A(p16) RAR-beta2 GSTP1
---

Hypercool-qMSP PP セットは、qMSP(quantitative methylation specific PCR, メチル化特異的定量 PCR)と Hypercool テクノロジー™を融合させることによって実現した、cfDNA/exoDNA サンプルのためのプライマー・プローブセットです。

## ▶Hypercool-qMSP PP セット

目的:cfDNA および exoDNA をサンプルとした qMSP による高度メチル化存在率の測定

仕様:1 セット 96 反応分  
プローブとプライマーF,R  
標準プロトコル付き

製品番号と遺伝子名 : 200301 APC  
200302 CDKN2A(p16)  
200303 RAR-beta2  
200304 RASSF1A  
200305 GSTP1  
200391 ACTB (コントロール)

※本製品は受注生産品です。  
※ご注文は、製品番号を添えて弊社へお願いします。

Hypercool-qMSP PP セット  
⇒[詳細はこちら](#)

▶Hypercool-qMSP デザインサービスも行なっております。

上記の Hypercool-qMSP PP セットと同様に、ユーザー様のご希望の遺伝子領域における Hypercool テクノロジー™を用いた qMSP 法による高メチル化測定用のプライマー・プローブのデザインをご提供します。

## Hypercool-qMSP デザインの特長

- ★AT リッチなテンプレートもデザインの可能性が広がります  
qMSP 法ではバイサルファイト処理を行なうため、dU リッチなテンプレートになることから、ターゲットによっては Tm 値の低下によりプライマープローブの設計がうまく行えないことがあります。Hypercool テクノロジー™により dU の相補鎖の dA に 2-amino dA を導入、あるいは未変換の CpG に 5-methyl dC を導入することによりプライマープローブの Tm 値を上昇させ、Tm 値の低下による設計上の問題を改善することができます。

★特異性を上げることができます

qMSP では、ターゲットによってはプライマープローブ領域に CpG 数を十分に取ることが難しい場合があり、非メチル化テンプレートに対するクロス反応が問題となることがあります。Hypercool™ により、CpG に 5-methyl dC を導入することにより、通常よりも特異性を向上させ、非メチル化に対するクロス反応リスクを最小限に抑えることができます。

★断片化テンプレートに特化した設計も可能です

cfDNA など断片化 DNA が多いサンプルの場合、長いアンプリコンの設計において、感度が低下することがあります。Hypercool テクノロジー™では、プライマープローブ内の dC や dA に 5-methyl dC や 2-amino dA を導入し、プライマープローブ長を短くすることができます。そのことにより、設計の自由度が広がり、アンプリコンサイズの短い設計を安定に得ることができます。cfDNA など DNA が断片化しているサンプルにおいて、感度の向上が期待できます。

Hypercool-qMSP PP セット

お問い合わせ先

株式会社日本遺伝子研究所 合成事業部

[oligo@ngri.co.jp](mailto:oligo@ngri.co.jp)

TEL : 022-388-9748 (直通) FAX : 022-388-9740 まで

Hypercool-qMSP デザインサービス

お問い合わせ先

株式会社日本遺伝子研究所 アプリラボ

[application@ngri.co.jp](mailto:application@ngri.co.jp)

TEL : 022-388-9746 (直通) FAX : 022-388-9740 まで